

The logo consists of the word 'TAKAMIZAWA' in a bold, white, sans-serif font. The letters are stylized with sharp, angular cuts, particularly in the 'A's and 'M'. The background is a vibrant orange with a grid pattern and bright, glowing light effects.

TAKAMIZAWA

**第53期
第2四半期株主通信**

平成25年4月1日から平成25年9月30日

高松機械工業株式会社

[証券コード6155]

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成25年9月30日をもちまして第53期第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日)を終了いたしましたので、ここに営業の概況ならびに第2四半期決算の状況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 高松喜与志

■ 当第2四半期連結累計期間の市場動向および成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や輸出の持ち直しで大企業を中心に収益が改善傾向にあり、また企業の設備投資も徐々に活性化し始めるなど景気回復傾向が持続する中、2020年の東京オリンピック開催が決定し、更なる景気改善に期待感が高まりました。

工作機械業界は、特に内需が前月比で5ヶ月連続の増加を記録するなど堅調に推移しております。業界受注総額では前年同月比17ヶ月連続の減少となっているものの、平成25年9月の単月受注が1年ぶりに1,000億円を超え、回復傾向にあります。

このような環境の中で当社グループは、需要拡大が見込まれる海外市場の対応と販売体制の強化を行ってきました。

中国では、杭州友嘉高松機械有限公司

が新工場に移転しました。最大生産能力がこれまでの工場の4倍以上になり、中国市場の需要拡大に対応していきます。

インドネシアでは、需要の高まりに対応して販売活動および迅速なサービス・メンテナンスを行うため、現地法人を平成25年4月に設立しました。現在は輸入ライセンス取得手続きを進めています。

ヨーロッパでは、平成25年9月にドイツで開かれたEMO2013に出展しました。ようやく景況感が上向きつつある中で、製品の積極的アピールを行ってきました。

国内市場では、ユーザに最適な加工方法と自動化ラインを提案する提案型営業を促進することで、特に海外進出を進める大手ユーザからの受注獲得をはかってきました。

また、本社工場の増築が完了しました。組立スペースを拡張するとともに、高性能レーザー加工機や大型立体自動倉庫を導入したことで、生産能力の拡大と生産効率の改善がはかれました。

以上のような営業活動を行ってきた結果、工作機械受注高が前年同期比0.3%減の60億78百万円、売上高が同12.7%減の64億72百万円となりました。利益は、営業利益が2億67百万円、経常利益が3億51百万円、四半期純利益が2億28百万円と、売上高の減少と固定費の増加の影響から前年同期を下回りました。

■ 今後の見通し

日本経済の先行きは、政策効果の広がりから、設備投資の増加や個人消費の改善が続き、景気回復の動きがより確かなものになることが期待されています。

工作機械業界は、大手企業中心の設備投資が続いてきましたが、ユーザマインドの改善によって今後も需要増加が見込まれています。

当社グループでも、受注状況は徐々に改善が見られますが、国内の中小企業では設備投資意欲の改善が遅れていることから、業績予想の修正を行いました。当初予想に比べ、売上高が若干下回るものの、設備投資計画や経費等の見直しを行ったことで利益は上回ります。

当社グループは、新たな計画達成に向けてユーザニーズに応える製品群を提供する提案型営業を促進していくとともに、各地の展示会等でいただいた引合に対するフォローを推進し、受注を獲得していきます。また、中小ユーザにある潜在需要の掘り起こしにも注力していきます。

海外対応力強化のための活動も継続します。中国では、当社とグループ会社の喜志高松貿易(杭州)有限公司および杭州友嘉高松機械有限公司が協力して市場シェアの拡大に努め、インドネシアでは、現地子会社の本格的な販売活動実施に向けて対応を進めます。その他の地域でも、新規ディーラの開拓などに取り組み、販売体制の構築・改善をはかります。

生産面では、工場増築に伴う最適な生産体制および物流体制の構築を進め、生産台数の拡大をはかっていくとともに、プロジェクトチームの活動による原価低減、専任者によるグローバル調達を推進していきます。

IT関連製造装置事業では、低調だった半導体需要にようやく底打ち感が見られ始めましたので、受注活動・生産活動を強化していきます。自動車部品加工事業では、堅調な受注状況が続いていますのでフル生産によって対応していくほか、営業活動の成果によって新規受注を獲得しましたので、新生産ラインの設備投資と稼働開始を今年度中に行います。

当社グループは、一丸となって上記のような取り組みを推進し、売上高・利益額を改善させて、目標の達成に向けてまい進していく所存でありますので、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

トピックス

展示会に出展しました



EMO2013 (平成25年9月16日～9月21日開催)

ドイツ・ハノーバーにて行われたEMO2013は、世界最大級の国際見本市であり、工作機械や金属加工における最高水準の技術と製品を披露するため、およそ2,000社もの企業が世界各国から集まりました。

当社のブースでは主力製品である「XL-100」や「XW-130」など全5機種を展示し、積極的なPRを行った結果、目標以上の受注を得ることができました。

メカトロテックジャパン2013 (平成25年10月23日～10月26日開催)

"これが日本の底力"

力強いキャッチコピーを掲げた国内最大級の工作機械見本市、メカトロテックジャパン (MECT2013) は、1987年に名古屋でスタートし、今年で通算14回目を迎えました。

今回当社が出品したのは、初のお披露目となる新機種「GSL-10」、多彩なオプション機能を誇る「XL-200」など全5機種です。

当社が得意とする技術力の高い製品のフルラインナップで、ブースに訪れた多くの来場者を魅了しました。



工場見学会を開催しました

平成25年6月26日に開催した第52回定時株主総会終了後、株主の皆様に対してお理解をより深めていただくため、工場見学会を開催しました。

ご参加いただいた株主の皆様へ増築工場をご案内し、大型の立体自動倉庫や環境に配慮した屋上庭園を見学していただきました。



職場紹介 =海外編= (杭州友嘉高松機械有限公司)



杭州友嘉高松機械有限公司(以下、友嘉高松といいます)は、中国・上海から車で2時間ほど離れた杭州にあります。"中国人が住みたい場所No.1"といわれている杭州は、中国の中でも経済が発展している八大古都の一つで、国家歴史文化名城(文化遺産保護制度)に指定されています。人口は約800万人で、杭州西部には2011年に世界遺産として登録された西湖があり、毎年多くの観光客が訪れます。13世紀には、かの有名なマルコ・ポーロが訪れ、杭州を「世界で最も美しく華やかな都市である」と絶賛したといえます。

友嘉高松はこの杭州で2004年、台湾の友嘉実業との合併会社として誕生しました。友嘉実業の工場の一角を生産拠点とし、製造から



アフターサービスまで全て行い、現地ユーザが求める製品を生み出し続け、誕生から9年後の今年6月、遂に独自の工場を設立することができました。建坪約3,000坪(9,960㎡)の大きな新工場では、当社の社員5名と現地で採用した社員115名の総勢120名が、日々熱心に仕事に取り組んでいます。

友嘉高松のビジョンは、オンリーワンの製品を作ること。「TAKAMAZブランドの特長である"お客様一人ひとりのニーズに対応できる技術力"を活かし、友嘉高松製品を全ての人に使ってもらいたい」。現在、月30台の生産を行っていますが、今後は更に生産台数を増加させていきます。

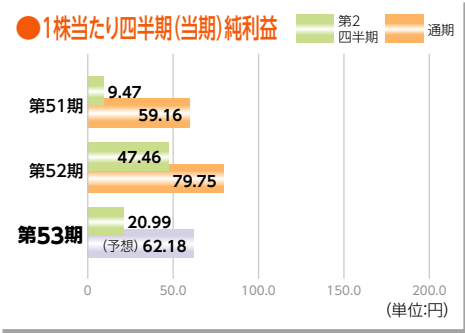
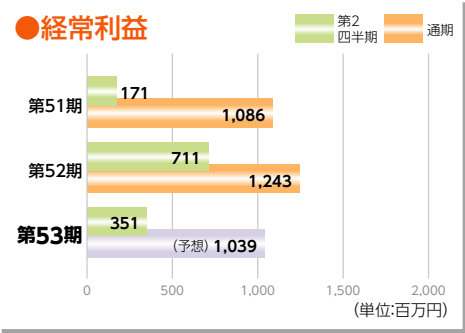
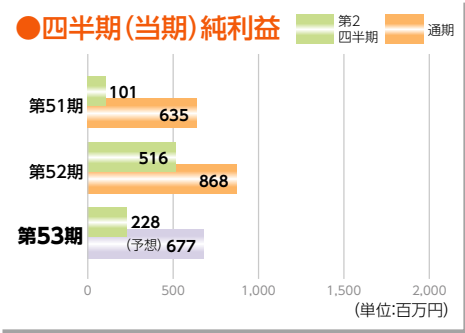
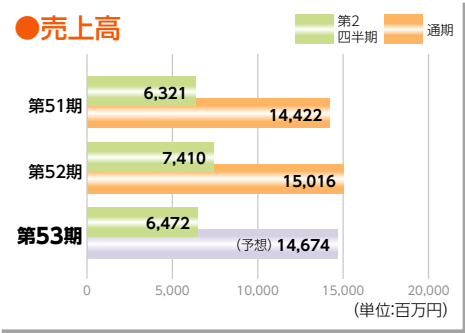
TAKAMAZ魂を受け継いだ友嘉高松メンバーは、今日も力強く走り続けていきます。

業績の推移

連結業績ハイライト

科 目		第51期 (平成23年度)	第52期 (平成24年度)	第52期第2四半期 (平成24年度)	第53期第2四半期 (平成25年度)
売上高	(百万円)	14,422	15,016	7,410	6,472
営業利益	(百万円)	988	1,079	651	267
経常利益	(百万円)	1,086	1,243	711	351
四半期(当期)純利益	(百万円)	635	868	516	228
純資産額	(百万円)	8,739	9,560	9,163	9,880
総資産額	(百万円)	15,791	16,499	16,190	16,595
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	59.16	79.75	47.46	20.99
1株当たり純資産額	(円)	799.32	876.40	838.33	905.70

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



第2四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

科 目	前期末 (平成25年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成25年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	10,769	10,650
現金及び預金	3,336	3,301
受取手形及び売掛金	5,111	4,673
商品及び製品	455	477
仕掛品	768	1,063
原材料及び貯蔵品	779	778
その他	322	360
貸倒引当金	△ 4	△ 4
固定資産	5,729	5,945
有形固定資産	4,502	4,573
建物及び構築物(純額)	1,453	1,445
土地	2,326	2,326
その他(純額)	722	801
無形固定資産	113	105
投資その他の資産	1,113	1,266
その他	1,114	1,267
貸倒引当金	△ 0	△ 0
資産合計	16,499	16,595

(単位:百万円)

科 目	前期末 (平成25年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成25年9月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	5,375	4,753
支払手形及び買掛金	3,005	3,026
短期借入金	829	948
未払法人税等	378	114
賞与引当金	115	180
役員賞与引当金	31	15
製品保証引当金	31	24
その他	982	443
固定負債	1,563	1,961
長期借入金	668	1,059
退職給付引当金	497	498
役員退職慰労引当金	300	317
その他	98	85
負債合計	6,938	6,715
(純資産の部)		
株主資本	9,458	9,610
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,822	1,822
利益剰余金	5,849	6,002
自己株式	△ 49	△ 49
その他の包括利益累計額	93	259
その他有価証券評価差額金	49	72
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	42	187
新株予約権	7	7
少数株主持分	1	1
純資産合計	9,560	9,880
負債純資産合計	16,499	16,595

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期連結財務諸表

四半期連結損益計算書

科 目	(単位:百万円)	
	前第2四半期累計 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	7,410	6,472
売上原価	5,488	4,866
売上総利益	1,921	1,605
販売費及び一般管理費	1,270	1,338
営業利益	651	267
営業外収益	70	91
営業外費用	9	8
経常利益	711	351
特別利益	47	1
特別損失	1	1
税金等調整前四半期純利益	757	351
法人税、住民税及び事業税	262	126
法人税等調整額	△ 21	△ 4
少数株主損益調整前四半期純利益	517	228
少数株主利益	0	0
四半期純利益	516	228

四半期連結包括利益計算書

科 目	(単位:百万円)	
	前第2四半期累計 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	517	228
その他の包括利益	△ 10	167
その他有価証券評価差額金	△ 15	22
繰延ヘッジ損益	△ 0	△ 0
為替換算調整勘定	1	66
持分法適用会社に対する持分相当額	4	78
四半期包括利益	506	396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	506	395
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	(単位:百万円)	
	前第2四半期累計 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 180	238
投資活動によるキャッシュ・フロー	90	△ 1,135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 95	418
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 182	△ 426
現金及び現金同等物の期首残高	1,654	1,906
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,471	1,480

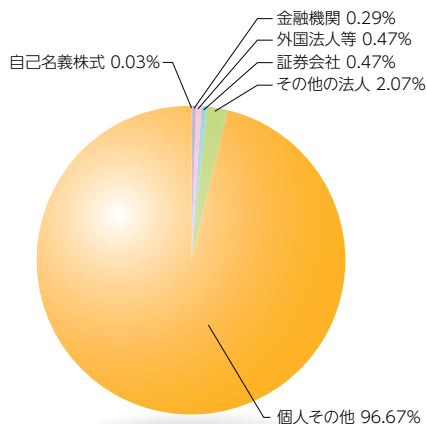
(注) 各計算書において、記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (平成25年9月30日現在)

株式の状況

- ①発行可能株式総数 ……30,000,000 株
- ②発行済株式総数 ……11,020,000 株
- ③1単元の株式数 ……100 株
- ④株主数 ……3,427 名

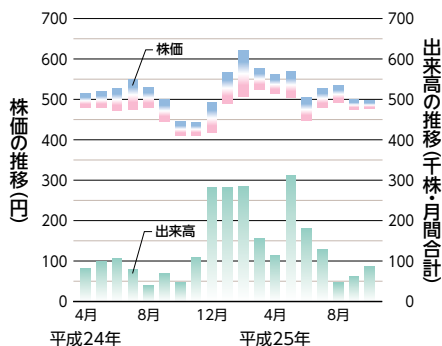
所有者別分布状況



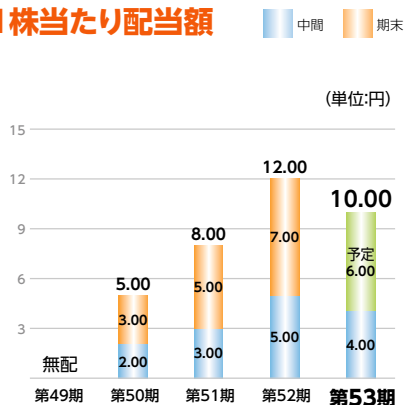
大株主

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(千株)	持株比率(%)
高松機械工業取引先持株会	874	7.93
株式会社タカマツ	810	7.35
日本生命保険相互会社	480	4.36
北国総合リース株式会社	433	3.93
高松機械工業社員持株会	411	3.74
株式会社北国銀行	408	3.70
明治安田生命保険相互会社	360	3.27
株式会社朝日電機製作所	339	3.08
三井住友海上火災保険株式会社	333	3.02
高松明毅	330	3.00

株価インフォメーション



1株当たり配当額



会社の概要 (平成25年9月30日現在)

会社概要

商号	高松機械工業株式会社
設立	昭和36年7月
資本金	18億3,539万円
本社	石川県白山市旭丘1丁目8番地
従業員数	434名
子会社および関連会社	TAKAMATSU MACHINERY U.S.A., INC. TAKAMATSU MACHINERY (THAILAND) CO., LTD. TAKAMAZ MACHINERY EUROPE GmbH 喜志高松貿易(杭州)有限公司 PT.TAKAMAZ INDONESIA 株式会社タカマツエマグ 杭州友嘉高松機械有限公司 株式会社エフ・ティ・ジャパン
ホームページアドレス	http://www.takamaz.co.jp

役員

代表取締役社長	高 松 喜与志
専務取締役(生産本部長兼新分野事業部担当)	前 田 充 夫
専務取締役(営業本部長兼部品事業部担当)	中 西 与 平
常務取締役(管理本部長兼品質保証部担当)	溝 口 清 隆
取締役(管理本部総務人事部長)	宮 川 隆 穰
取締役(生産本部技術部長)	徳 野 穰 進
取締役(生産本部製造部長)	中 川 宗一郎
取締役(営業本部海外営業部長)	高 松 祐 一
取締役(社外)	中 西 佳 信
常勤監査役	池 上 敏 弘
監査役(社外)	鍛 治 修 司
監査役(社外)	杖 村 修 司

ネットワークとサービス体制



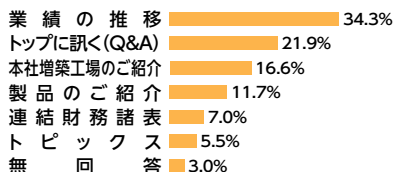
アンケートのご報告

単元株主様の第52期株主通信に同封しました「株主アンケート」におきましては、たくさんのご回答をいただき誠にありがとうございました。アンケートの集計が完了しましたので、その一部ですがご報告させていただきます。

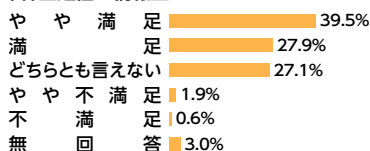
単元株主数	2,501名
アンケート回答数	691名
アンケート返信率	27.6%

●第52期株主通信についてお聞かせください。

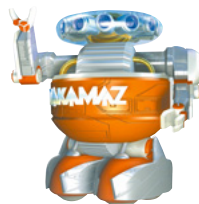
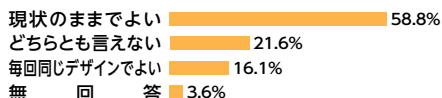
(1) 株主通信の中で、どの記事に興味を 持たれましたか？



(2) 株主通信の情報量はどうかでしたか？



(3) 株主通信の表紙は毎回違うデザインにしておりますが、 どのように思われますか？



276名の皆様よりいただいたご意見・ご質問の中からその一部をご紹介します。
貴重なご意見をいただきありがとうございました。

- | | |
|--|---|
| ○円高に耐えられる体質になってほしい。また、独創的な製品に期待しています。(55歳男性) | ○企業PR、広報活動を積極的に進め、企業の認知度をあげてほしい。(64歳女性) |
| ○新工場の完成おめでとうございます。新工場案内を丁寧にいただき本当に良かったです。益々の業績UPを期待しています。(73歳男性) | ○開発、研究費は将来の礎です。他社との差別化をはかり、only oneの会社を目指してください。(70歳男性) |

株主の皆様からいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、企業価値の向上およびIR活動の拡充に努めてまいります。今後とも更なるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事業所



本社工場(工作機械事業)



第2工場(コレットチャック生産)



第3工場(自動車部品加工)



開発センター(IT関連製造装置)

製品のご紹介



NEW GS-L10

新興国をターゲットにした低価格マシンの第2弾。開発担当者に女性を起用し、工作機械に女性の感性を吹き込みました。シンプルな操作方法や高い安全機能を持った、作業者に優しいマシンです。



NEW XL-200

従来機と同等のフロアスペースでありながら、同クラスで最も長い加工域を実現！豊富なオプションと併せて、お客様の幅広いニーズにお応えした自信作です。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

株主確定基準日	(1) 定時株主総会	3月31日
	(2) 期末配当金	3月31日
	(3) 中間配当金	9月30日
	(4) その他必要ある時	あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社には口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL) <http://www.smbt.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 当社ホームページに掲載 <http://www.takamaz.co.jp>

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

お問い合わせ先 管理本部 企画経理部

TEL 076-274-1411(直通) FAX 076-274-1418



TAKAMAZ
高松機械工業株式会社

UD FONT

このパンフレットは再生紙を使用しています。

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

